

# あさかぜ

高知学芸高等学校同窓会関東支部

機関誌 27号

2014.9

〒263-0005

千葉県千葉市稲毛区  
長沼町263-16-3 石川明男

TEL 043 (257) 2614

FAX 043 (257) 2614

## 「それぞれの分野で活躍する卒業生」 をテーマに関東支部総会を開催

29期 西 雅史

### 今年29期が支部総会の幹事

今年の高知学芸高校同窓会・関東支部総会の幹事は、29期が務めます。学芸高校を卒業して四半世紀。その間、関東で暮らし、高知とも学芸高校とも縁遠くなくなっていました。ひよんなことで、昨年の同窓会関東支部総会に参加し、いつの間にか幹事を務めることになった西と和田英朗君。

「関東支部総会・幹事持ち回り制度?」「次の関東支部総会の準備を担当?」「まさか、こんなことになるとは」と弱音と疑問、不安でいっぱいでしたが、今は楽しく、来る10月25日の関東支部総会の準備を進めています。着々と10月25日に向けて進む準備

先輩方の「仲間を増やせ」のご助言を受け、西と和田以外に仲間を集めなさいいけない。焦る思いの中、集まった仲間たちが、下の集合写真。しかも3ヶ月後に総会が迫る7月26日という、異例の遅さ。

関東支部総会の打ち合わせは、そこそこで先送り。次の集まりまでに、懸案事項は全て持ち越し。当日集まった仲間たちのそれぞれの分野での活躍や、多くの同窓生の消息「あいつはどうしゆう?」で、四半世紀を埋める飲み会は、延々4時間以上続きました。

### 今年29期の支部総会のテーマ

さて、今年の高知学芸高校同窓会は29期の独断と偏見で、「それぞれの分野で活躍する卒業生」をテーマに講演や、懇親会の出し物の検討を進めています。

関東支部総会の伝統「幹事持ち回り制度」により、準備を担当するのは、40歳代半ば。若さや美貌、行動力だけが取り柄だった昔の面影は薄れ、それぞれ個々人の力量が本当に発揮できる、そうした年代にさしかかっています。

30歳代や40歳代前半の学芸高校卒業生の後輩諸君。「高知県人」だけでなく「学芸の卒業生」を再確認するために、是非、関東支部総会にお越し下さい。また、もつと若い卒業生にも参加いただき、先輩方のご活躍を目に焼き付けて欲しい、そう願っています。

### 関東以外の卒業生にも

また、関東支部は「支部拡張路線」を取り、一昨年から支部のない東北地方の卒業生の方にもご案内申し上げます。「高知にはなかなか帰れないけど、東京だったら」来ることが出来る卒業生の皆さん。ご参加をお待ちしています。

そして何よりも29期、昭和63年に学芸高校を卒業された皆さん。あなた達が来なければ、支部総会は盛り上がりません。再会できません。とを楽しみしています。

誌面が何とか埋まり、ほっと一息。これから仕事はここそこで、支部総会の準備を進めていきます。

多くの卒業生が10月25日、東京・学士会館に集まられることを期待しながら、幹事期からのあいさつとします。



久しぶりに集まった29期の泥酔者

第26回

## 関東支部総会 開催

2013年10月26日



2013年10月26日(土)、高知学芸高校同窓会関東支部の第26回総会は人気TVドラマ「平沢直樹」の土下座シーンを撮影した神田神保町の伝統ある「学士会館」で開催された。

学校からは、村岡高光校長、橋本和紀教頭(数学)、坂本和幸先生(理科)、森下表先生(社会・同窓会副会長兼任)、蒲原宜彦先生(英語・同窓会会計兼任)の先生方が、

高知の同窓会本部からは、西川博行同窓会長(6期)、福田恵美副会長(6期)の7人にご出席戴きました。

総会は幹事の谷本氏(28期)の司会でスタート。細川支部長からの挨拶の後、会計担当の筒井さん(14期)が海外留学のため代理の住友氏から昨年度の会計報告が行なわれた。収入の部は235万5961円、支出の部は146万6201円で残金は88万9760円。引き続き会計監査の戸田氏から監査報告があり、原案通り承認された。(会計報告は14ページを参照下さい)また、石川副支部長からは関東支部の活動報告が行われた。役員改選に関しては、細川支部長から「私は同窓会関東支部の結成時から関わっておりまして、谷川前会長の後、支部長になり長いこととなります。そろそろ新しい方に交代して、更に活性化をしていかなければなりません。この際、私は支部長を辞任し、新たに石川副支部長に支部長をお願いしたいと思えます」と石川氏を推薦された。

新支部長には石川男氏(6期)が、また、新会計担当は住友謙一氏(30期)が、副支部長の市川浩

幸氏(22期)と会計監査の戸田典尚氏(17期)の留任が承認された。なお、細川氏には今後顧問として関東支部の運営を支援して戴くことをお願いし、副支部長の補充は、来年の総会で任命することが確認された。

石川新支部長は「今まで通りの体制で頑張つて、関東支部を益々発展させたいと思いますので、皆様のご支援、よろしくお願いいたします」と挨拶された。



石川新支部長と細川前支部長

その後、来賓の高知の同窓会本部の西川同窓会長と村岡校長からのご挨拶があり、村岡校長からは「高知は南海トラフ巨大地震の発生が想定されていることから、本校では携帯できる防災マニュアルを作成しました。このマニュアルは地図があり、生徒は通学路の避難場所を各自で書き込み、自分だけの防災マップを作り、携帯して

おります。また、畳み方は「ミウラ折り」という特殊なもので、宇宙船が太陽パネルを畳むのと同じやり方です。これは今注目されています。県庁の南海地震対策課や県教委、教育センター、地域の自主防災組織等からの問い合わせもあり、いろんな所で使つて戴けたら嬉しいですよ」と防災マニュアルを紹介され、総会の第一部は終了した。

第二部は坂本和幸先生(理科)の「寺田寅彦と坂本竜馬」と題した特別授業が行われた。(特別授業の内容は、3〜5ページに掲載してあります)

最後に、ソウルシンガの近藤将大氏のギター伴奏と幹事の28期のメンバーのリードにより、全員で上海列車事故を悼む歌の「さよならは言わない」を歌い、第二部は終了した。



防災マニュアルを紹介する村岡校長

特別講演

## 寺田寅彦と坂本竜馬

坂本 和幸 先生（理科）

皆さん、今日は。台風とともに高知からやってまいりました。

先ほど、ソフトボール部のOB会を立ち上げの話がありました。が、ぶしつけにも細川先生に案内状をお送りした張本人が私です。来週11月3日に1期生から58期生まで、155名の方が集まって、盛大にOB会を立ち上げるといふ流れになっております。

私は28期生の担任をしておりまして、今日、卒業以来約30年ぶりに会った卒業生も何人かおります。28期生は昭和62年卒業で、現在現役で残っているのは私と公文先生の2名だけでございます。

関東の同窓会は26回目、上海の列車事故の後に設立されたと同っておりまして。私もあの時の修学旅行を引率しております。川添哲夫先生とはずっと同室でした。あのときは一体何が起きたのかさっぱり分からない状況で、大変な思いを致しました。皆様にもご心配



高知と科学に縁のあるのは寅彦しかない

をおかけし、ご協力、ご支援をいただき有り難うございます。これからは学芸高校を安心して通える学校にするために、私もささやかながら尽力してまいりたいと思います。さて、今日のテーマですが、28期の谷本君から科学に関して何か話をしてくれという依頼があり、最初はガリレオの話も考えたんですが、高知と科学に一番縁のある人物は誰かというところ、やっぱりこの人をおいてないだろうというところで寺田寅彦を選びました。寺田寅彦についていろいろ調べていくと、坂本竜馬さんが登場してきます。今日はそのいきさつをお話したいと思っております。

## 寺田寅彦の父と

## 幕末の志士たち

竜馬さんは明治の夜明けを待たず慶応3年に亡くなっています。寅彦は竜馬さんが亡くなって11年後に生まれていますので、二人は全く時代をともにしていないわけですから、会ってもないし、話をしたこともないのですが、実はこの二人を結びつける人物が二人います。

一人目は寅彦のお父さんです。寺田寅彦の父と竜馬さんは、生まれた年が同じなんです。しかも近所で幼馴染でありました。その二人が高知のお城下で起きたある事件の時にまた出会うことになりました。それは1861年文久元年に起きた「井口村刃傷事件」という有名な事件です。

上町5丁目の電停を降りて、北にいった所が現在の井口町です。そこに浄土真宗の永福寺というお寺があります。文久元年3月3日、桃の節句を終えて上機嫌で帰宅中の上士2名と下士の2名がすれ違いざまに肩が触れたとか、触れないでないとかで、寺の前で上士が下士の一人を無礼討ちにしたので、もう一人の下士が知らせに走り、斬られた下士の兄池田寅之進

がすぐさま現場に駆けつけ、川で血の付いた刀を洗っている上士の二人を袈裟懸けに切り殺すという事件が起きました。

さあ、これは大変だ、このままでは上士と下士の戦争になってしまう。というところで、その場をまとめた人物が大石弥太郎さん。土佐勤皇党の血判書を見てみると、1番目は武市先生、2番目は大石先生、竜馬さんは9番目です。勤皇党の懐刀といわれている弥太郎さんが、上士を斬った池田寅之進に、お前はもう弟の仇を討って本望を遂げただろう。だからお前は腹を切れとなったのです。もう一人、知らせに走ったのが18歳の宇賀喜久馬という青年なんです。この人が実は寺田寅彦のお父さんの実弟でした。これにも責任をとらせないといけないということで、二人が切腹することになります。その喜久馬の介錯をしたのが寺田



「井口村刃傷事件」がおきた永福寺

寅彦のお父さんだったんです。寅彦のお父さんにはこのような悲惨な過去があります。これをきっかけに同じ年に土佐勤王党、尊皇攘夷のグループが結成されることになりました。

寅彦の一番上のお姉さんは山北今の香南市に嫁ぐのですが、そこが安岡家です。義理の弟の孫に当たる方が小説家の安岡章太郎先生です。勤王党が結成された翌年、「吉田東洋暗殺事件」が起こります。実行犯は、那須信吾、大石団蔵、安岡嘉助です。その安岡嘉助が寅彦の姉が嫁いだ安岡家の一族であります。安岡章太郎先生も、その経緯のことを小説に書かれています。

そのような家系に生まれ育った寺田寅彦。明治11年に生まれました。生れは東京ですけども、育ちは高知。現在の追手前高校を卒業して、19歳で熊本の第五高等学校に進学します。その時に彼の人生を左右する方との出会いがあります。一人は自然科学、物理学の先生。もう一人は自然科学とはまったく関係ない英語の先生をしていた夏目漱石との出会いです。漱石が亡くなるまでの約20年間、二人の交流が続いていくのです。

寅彦は19歳で結婚します。お相手は15歳の坂井夏子さん。お父さんの知り合いのお嬢さんで高知の



寅彦を精神的に支えたのは夏目漱石でした

方です。お嫁にももらったのですが、寅彦は熊本で勉学に励む。高等学校を卒業して、東京帝国大学に進み、やっと東京で夏子さんと二人の生活が始まります。お子さんは女の子が一人生まれています。これからという時に、19歳になった夏子さんは結核で亡くなってしまいます。寅彦が言う「度重って訪れる不幸」です。

沈んだ寅彦を精神的に支えたのは夏目漱石だったのです。最初は先生と教え子という関係でしたが、俳句や文学を通じ、お互いを高め合うという関係になっていったようです。寅彦は回想録の中で、「夏目先生からはいろんなことを教わった。その中で自分が一番大切だと思ふことは、真なるものとそうでないもの、これをきちんを見分けることが大切なんだ」、漱石先生に会うと自分の心の中にあ

る暗いもの、重いものがすーっと消えていくような感じがした。漱石先生そのものが薬であったような気がする」と記しております。

## 妻・寛子さんとヨーロッパ

それから3年して、寅彦が27歳の時再婚します。2番目の奥さんとなって登場するのが、浜口寛子（ゆたこ）さん。心がひろいと豊かになる、ということと、「ゆたこ」と呼ばれたそうです。高知の方で土佐女子高校の1期生です。寅彦の人生の中で寛子さんとの12年間が最も幸せな時期であったのではないかと思います。

寅彦と竜馬を結びつける二人目の人物が実はこの寛子さんなんです。寛子さんにはお姉さんが二人います。すぐ上のお姉さんが嫁いだ先が仁井田にある川島というお家です。川島家は土佐藩の時代のいわゆる回船問屋、貿易業をやっている、有名な商家でありました。現在も川島家はあります。

竜馬のお母さんの伊與さん。名前は「いよ」ですけども出身は高知です。実はこのお母さんは竜馬の継母です。生みの親のお幸さんは竜馬が12歳の時に亡くなっていて、その後に伊與さんが川島家から坂本家にお嫁に来ます。

伊與さんは九反田の商家の長女でして、才谷家の「わりことし」の竜馬のことを小さい頃から知っていました。その伊與さんは九反田から川島家へお嫁に行ったのですが、ご主人とお子さんがすぐ亡くなってしまい、後家さんになりました。方や坂本家は小さい子供がたくさんいて、手がかかるというので、伊與さんはお嫁に行つたわけです。

貿易業の川島家の当主はヨーロッパ通で、海外の事情に精通していました。当時長崎や下関で仕入れてきた世界地図や地球儀とか珍しい品がたくさんあったようです。

ときどき伊與さんは、乙女姉さんや竜馬を連れて川島家を訪れております。これらの品物だけでなく、外国の文化や金融、株、保険とか日本にないシステム。また、民主主義、議会の開催など、新しい世の中を造るために必要なもの



寺田寅彦邸址（高知市小津町）

を、竜馬さんは子供心に垣間見た  
と思います。あのような世界観を  
持った経緯といえますか、あとい  
う人物に育った背景に一番大きく  
影響を与えたのはやはり伊與さん  
ではないかと私は思います。

寅彦のお姉さんが川島家にお嫁  
に行き、その川島家から伊與さん  
が坂本家に来て龍馬さんの継母に  
なるということで、むりやり二人  
を遠い親戚ということにこじつけ  
ました。

## タッチの差でノーベル賞が

寅彦は寛子さんと結婚して12年  
間の間に二人の女の子と男の子二  
人をもうけます。と同時に大学で  
の功績も上げる。その期間に寅彦  
は国費でヨーロッパに留学してい  
ます。2年間の留学で、最先端の  
科学技術に寅彦は触れることがで  
きました。ノーベル賞が創設され  
た1901年の少し後の1905  
年頃だと思っています。

ノーベル賞の話ですが、寅彦は  
惜しかった。日本のノーベル賞第  
一号は寺田寅彦だったのに、とい  
うお話です。ドイツに留学してい  
たのですが、当時のヨーロッパは  
レントゲンを始め、原子核物理学  
が産声を上げた草創期にあたりま  
す。寅彦の大学のお師匠さんは有



理研ここにあり  
(旧理化学研究所跡、文京区)

名な長岡半太郎という方です。

まだ原子がどういう構造をして  
いるか分からなかった時代にヨー  
ロッパや日本の学者がいろんなモ  
デルを考えていたわけです。イギ  
リスのJ・J・トムソン、190  
6年ノーベル賞をもらった方です  
が、原子というのは分かり易く言  
うと、ぶどうパンのぶどうの部分  
がプラスの電気、それ以外はマイ  
ナスの電気、プラスの電気を持  
つぶどうが全体の中にポツポツあ  
るところが、長岡半太郎博士は「そ  
うじゃない」と主張。有名な「ぼ  
うしパン」(最初に作ったのは高  
知の永野旭堂さんです)の縁どう  
しをくっ付けると、土星みたいな  
形になります。その縁の部分にマ  
イナスの電気を持った原子が回っ  
ていて、真ん中がプラスであると  
いう現在のモデルの形に非常に近  
い案を提唱したのです。ところが  
トムソンには優秀な弟子が沢山い  
て、「先生のぶどうパンのモデル  
より、どうも半太郎の方が近いの

では…」と言ったのがラザフォー  
ドで、彼は原子核を発見しました。  
半太郎先生は、トムソンとラザ  
フォードに原子核の発見、原子の  
構造で一步先を越されました。

半太郎先生の弟子の寺田寅彦は、  
当時レントゲンが発見したX線を  
使って、物質の構造を明らかにす  
るX線解析学とでも言いましょう  
か。ピンゴゲームのくりぬくヤツ  
がありますね。横に揃う、斜めに  
揃う、縦に揃う。揃ったところは  
結晶面です。これにX線を当てる  
と跳ね返る。ある方向に強く跳ね  
返されるX線を調べると、物質の  
構造を明らかにすることができ  
るという研究をして、王立科学研  
究所で論文を送りました。当時は船  
で送るので論文が届くのに2〜  
3ヶ月かかる。その間にイギリス  
の論文を提出し、寅彦はタッチの  
差でノーベル賞を逃してしまいま  
した。もし寅彦が日本最初のノー  
ベル賞をもらっていたら、高知県  
はもっと変わっていたのでは、と  
いう思いがします。

寅彦はその後、東大の教授を辞  
めて、理化学研究所に移り、自分  
の好きなことを研究します。いわ  
ゆる寺田物理学です。金平糖がど  
うしてあんな形になるのか。墨絵  
の墨汁がどうしてあのような形に  
なるのか、ひび割れの研究とか。

また、寅彦はいろんな文集、随  
筆を残しています。その中の有名  
な言葉は、「天災は…」と思うで  
しょ。そうじゃない。寅彦は、  
「正当に恐れること、怖がること  
は難しい」と述べています。亡く  
なる昭和10年に浅間山の噴火の調  
査に行った時、山から下りてきた  
登山者と駅員との会話を聞き、  
「怖がりすぎてもだめだ。怖がら  
なすぎてもだめだ。正当に怖が  
ることは難しいな」と随筆に書い  
ています。

もう一言。「文明が進歩すれば  
するほど、災害の割合は大きくな  
る。災害の激烈さはより大きな  
るのである」とも述べており、な  
るほど思い当たる節があるなあ、  
と感じます。竜馬さんの言葉を借  
りたなら、「科学をなめたらいか  
んぜよ」となりますでしょうか。  
謙虚に自然に向かう姿勢が大切だ  
ということを寺田先生から学びま  
した。



ご講演、ありがとうございました

# 【特集】第26回 関東支部同窓会・懇親会



石川副支部長、支部長指名に固い表情で一旦固辞するも、お酒が入るとこの笑顔。



細川支部長、最後のスピーチ。お勤め、お疲れ様でした。

～台風など心配  
いらん。楽しさ倍返  
しのドラマぜよ～

2013.10.26  
(土)  
(於：学士会館)



歓談中



5期久常節子さんフローレンス・ナイチンゲール記章受章  
おめでとうございます。



笑顔特集！懐かしい人たちに今年も会えました。



ちょっと、難しかったかな？回答者が少なくクイズのスキップでネタ切れのハプニングもチームワークとアドリブで乗り切る28期。



さあクイズの始まり～！



受賞しました。ラッキー。昨年の幹事長 27期宇陀さんはクイズ王に！



近藤将大氏(28期)、ミニライブで熱唱

- 1曲目 Hold on I'm coming / Sam & Dave
- 2曲目 The Dock of the Bay / Otis Redding
- 3曲目 ナツノオブリニ / Showdai (近藤 将大)



学芸講歌を合唱。時を超えて歌う校歌に絆を感じる。



28期やりきったぜ、イエーイ！ そしてバトンは29期に、また2014年10月お楽しみに！

28期の幹事でした

## 第44回フローレンス・

## ナイチンゲール記章受賞！

国際医療福祉大学大学院  
副大学院長

## 久常(山崎) 節子氏(5期)

2年に一度、顕著な功績のあった看護師に授与される世界最高の記章、第44回フローレンス・ナイチンゲール記章を昨年受賞。看護教育の発展や看護師の地位向上に努められた苦労話や、学芸時代のお話も伺いました。

## 〈久常節子氏 PROFILE〉

- ・生年月日：1945年5月11日（69歳）
- ・出身地：高知市大津

## 【学 歴】

大津小学校→附属中学校→高知学芸高校  
1968年高知女子大学家政学部衛生看護学科卒業。1970年大阪市立大学家政学部社会福祉修士課程修了。1982年日本医科大学医学博士取得。1991年カリフォルニア大学サンフランシスコ校ポストドクトルコース修了

## 【職歴・経歴】

大阪での保健師を経て、福井県立大学看護短期大学の講師に。1977年国立公衆衛生院（当時の厚生省の研究機関）に勤務。1982年同衛生看護学部主研究官となる。その後、カルフォルニア大学に1年間留学。帰国後の1991年厚生省健康政策局計画課保健指導室長、1993年看護課長に。2001年慶應義塾大学看護医療学部教授。2005年日本看護協会会長に就任。2011年国際医療福祉大学大学院副大学院長、現在に至る。

## 【著 書】

「住民自身のリーダーシップ機能」（勁草書房）、「にわか役人奮闘記」（学習研究社）、「看護とはどんな仕事か」（勁草書房）



◆**気を失った手術実習。でも、勉強は好きで頑張ってきました**  
たまたま入った看護の世界。昨年、大変名誉な「第44回フローレンス・ナイチンゲール記章」を受

賞しましたが、学芸時代は、このような仕事をするようになるとは思ってもみませんでした。当時は、学芸を卒業すると高知大学に行つて、教師になるという人が多かった。私は親友のお父さんから「高知女子大の看護学科を出ると、仕事に困らない」という話を聞いたことと、「自宅から通えて、公立じゃないといかん」と父から言われたこともあって、看護学科を選んだのです。

でも、手術実習だけはつらかった。気を失って、そばにいた麻酔科の先生に受け止められたことも（笑）。血が怖くて、臨床看護はともできなかつたので「看護を通して何ができるのか」、もう少し勉強したくて大阪市立大学家政学部社会福祉修士課程を修了。目指したのは、きちんと仕事のできる人間です。



F・ナイチンゲール記章とは

1907年および、1912年の赤十字国際会議で制定され、F・ナイチンゲール女史の生誕100周年を記念して、1920年に第1回の記章が授与されました。以後、隔年でナイチンゲール女子の誕生日である、5月12日に赤十字国際委員会から発表されます。記章は国の元首もしくは、各国赤十字社の総裁、またはこれに準ずる者から直接授与。日本の赤十字社の総裁は、皇后陛下です。メダルの表面には、ナイチンゲール女史の像が。



「ナイチンゲール記章」受賞後の食事会で皇后陛下からお言葉を戴く（日本赤十字社からの献本より）

◆**国立公衆衛生院に15年間勤務。その後、かつこよく留学！**  
これまでずっと心の中にあつたのは、「小さくてもよいから何か切り拓いていく仕事につきたい」ということ。国立公衆衛生院に勤務していた間には、フィールドワークとして住民の組織化活動に力を入れました。保健師の実践能力向





◆厚生省の役人時代、「指一本で男を転がす」作戦とは!?  
アメリカ留学を終えてから、厚生省で仕事を始めました。省庁と

上のための教育体制を整えたり、全国の保健師の研究組織を作ったり、動かない地域をどう動かすかというので、さまざまなアクションを起こしたり。指導しながら自分も学んで、あっという間の15年間でした。  
仕事はますます充実しておもしろかったのですが、人間関係で居づらくなって、逃げたくなりました。そこで選んだのが、アメリカ留学。仕事も辞めずに、かつこよく逃げる方法として、我ながら頭がよいと思いました(笑)。



厚生省医薬課長時代、アラビアに。日本の看護の仕組みを講演

いえば男の世界で、看護はマイナーな分野、私は役人としてド素人です。でも、どうしても看護教育のあり方を変えたい、保健婦・助産婦・看護法の法律を変えたい、予算がつくようにしたい、と頭をひねりました。そこでひらめいたのが、アメリカ留学で目の当たりにした、ゲイ&レスビアンパレードです。少数派でありながら、力をつけていく方法論が必ずあると思いました。それが、「指一本で男を転がします」作戦(笑)。このテーマでホームパーティを開いたので、招いたのは看護に関係する各省の課長さんや、マスコミ関係者。手作り料理とお酒でもてなした後、「ただいまから、指一本で男を転がします」と、和室のふすまを開けました。布団を見て、みんなが一瞬シンとなりましたが(笑)、その後は大反響。なんと、希望者

全員が、神谷さんという看護技術に優れた専門家によって、指一本でみごとに転がされた(体位が変わった)のです!  
それから、寝たきりになると人間の体はどうなるのか、看護がないとどうなるのかを説明。さらに、交通事故で意識障害を起こしている方が看護によって、意識を取り戻していくドキュメンタリー番組のビデオを見てもらいました。  
◆「ふたり酒」を口ずさむ毎日。  
つらかった時代も今は思い出  
ホームパーティをきっかけに、翌日、大蔵省からさっそく電話がかかってきました。「介護保険の勉強会のために、ビデオを貸して欲しい」というのです。真つ向勝負ではだれも相手にしてくれませんでした。これ以来、看護のことに関心を持つてもらえるようになりました。  
この間に、看護職では最高位の厚生省医政局看護課長に就任。保健師助産師看護法(保助看法)を一部改正し、男性も保健師の資格が取れるように道を開きました。ところが、その他はなかなか仕事がうまくいかず、毎晩、気持ちを鎮めるために飲み、駅に着いたとたん、「生きてゆくのがつらい日は、お前と酒があればよい♪」と、川中美幸の「ふたり酒」が自然と口

をついて出ましたね。でも、何人か仲間ができたのはよかった。今もつきあいが続いて、先日受賞のお祝いをしてもらいました

◆日本看護協会会長職は6年間。法律を変えるべく東奔西走!

仕事としておもしろかったのは、社団法人日本看護協会会長だったとき。看護師の労働問題に直面しました。それまでは、いかに看護教育の質を上げるか、意識をどう高めるかを考えてきましたが、現状の看護師の労働問題が重要であると思っただけです。看護師の過重労働を減らし、患者さんに手厚い看護を提供するべく、「患者7人に対して看護師1人」と、看護職員配置を診療報酬に反映させるよう奔走しました。役人とも対等につきあえたし、他の法律の一部改正などにも尽力しましたが、日本



看護協会会長時代、国際会議を主宰。民族衣装(着物)で英語のスピーチも11回